

「核なき未来」について、核で地球を守れるのかを考えたとき、私は、核が地球を守ることとは絶対にはないと思う。地球上には、いくつかの核保有国がある。だが、そこで守られるのは、核保有国だけであると、私は考える。核を所有している国は、他国から核兵器による攻撃を恐れられているため、他国から攻撃されにくい。そのため、核を所有している国は、核兵器によって守られているといえる。だが、これでは地球全体を守れるとはいえない。核を所有していない国を攻撃し、戦争が始まったとしても、核兵器による報復をされることはない。すなわち、核を所有していない国は、攻撃されやすくなってしまふのだろう。今、起きているロシアとウクライナの戦争にも同じことがいえる。戦争が始まった理由はともかく、ウクライナが核兵器を保有していないことは、ロシアにとって、ウクライナを攻撃しやすくする一因になってしまったのではないか。

仮に、世界中の国が核兵器を所有しているとしたらどうだろう。ある国がある他の国に核兵器を使用した戦争を始めようとしていたとする。ここでは、この2つの国をA、Bとする。A国はB国に攻撃しようとしていたが、A国はB国の核兵器による報復を恐れ、国を攻撃することができない。これは、B国からA国に対しての攻撃にも同じことがいえる。だが、この関係は平和といえるのか。互いの国が恐れ合いながら成り立つ関係は平和とはいえない。つまり、この世界は平和とはいえないと私は考える。互いを認め尊重し合える関係が平和である。

また、この世界では、自国が優位に立ちたいと考える国がでてくるであろう。そんな国は、核兵器よりも脅威的で強力かつ危険な兵器を作ってしまうかもしれない。こうなると、今の世界と同じ、核保有国とそうでない国の間に格差が生じてしまう世界になってしまう。

また、次は世界中の国が核兵器を所有しないものと仮定してみる。この場合、一見世界は平和になったように見えるかもしれない。だが、この世界は、核兵器がなくなっただけであり、戦争がなくなった訳ではない。この世界では、核兵器は使用されないが、元の世界と同じように、ロシアとウクライナの戦争があるだろう。核兵器の代わりとなる、別の強力な兵器が使われているだろう。中には、日本のように戦争放棄を掲げ、そのような強力な兵器を所有しない国もあるだろう。より強力な兵器を生産し、所有、使用しようとする国もあるだろう。これは、兵器が核兵器ではなくなっただけで、今の世界と変わらないのではないか。

このように、私はこの世界に核兵器があつたとしてもなかつたとしても、戦争がなくなったり、イラク、アフガニスタンで起きている紛争はなくなるだろうと考える。核兵器がある世界では、核兵器があるデメリットがあり、核兵器がない世界では、核兵器がないデメリットがある。よって、私は核兵器があつたとしてもなかつたとしても完全に戦争や紛争がなくなるわけではないと考える。だが、だからといって核兵器を使い戦争・紛争が各地で起こってしまうと、この世界の秩序は壊れてしまう。逆に核保有を辞める国は、ロシアとウクライナのように攻撃され、戦争が始まってしまふかもしれない。